

「がん」についての調査 (小学5年生)

- 1) あなたは男ですか、女ですか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) 男 ( ) 女
- 2) あなたは、「がん」についてどのような印象を持っていますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①こわいと思わない  
( ) ②どちらかといえば、こわいと思わない  
( ) ③どちらかといえば、こわいと思う  
( ) ④こわいと思う  
( ) ⑤わからない
- 3) 「がん」は治療で治ると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①治ると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③治らないと思う  
( ) ④わからない
- 4) あなたは将来、自分が「がん」になると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③思わない  
( ) ④わからない
- 5) 「がん」は予防できると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①予防できると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③予防できないと思う  
( ) ④わからない
- 6) 「がん」の検診を受けられる年齢になったら、あなたは検診を受けようと思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。※検診=病気がかかっているかどうかを調べる診察・検査など  
( ) ①受けようと思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③受けようと思わない
- 7) 「がん」の検診はどこで受けられると思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①病院や医院  
( ) ②職場 ※仕事をしているところ  
( ) ③地域の保健センターや保健所  
( ) ④その他 (書いてください: )
- 8) 「がん」の検診はどのような人が受けるものだと思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①健康な人  
( ) ②自覚症状のある人 ※自分で痛みなどを感じている人  
( ) ③医者から受けるようにすすめられた人  
( ) ④その他 (書いてください: )

9) 「がん」はどのような原因でなると思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。

- ( ) ①たばこ ( ) ②お酒・アルコール ( ) ③細菌・ウイルス  
 ( ) ④ストレス ( ) ⑤運動不足 ( ) ⑥太りすぎ  
 ( ) ⑦野菜を食べない ( ) ⑧脂肪(油)の取りすぎ ( ) ⑨食品添加物  
 ( ) ⑩魚や肉の焼けこげ ( ) ⑪塩分の取りすぎ  
 ( ) ⑫遺伝 ※親の性質が子へ伝わること  
 ( ) ⑬環境ホルモン※動物のからだで成長などにかかわる働きをして体の働きを乱す化学物質  
 ( ) ⑭直射日光の当たりすぎ  
 ( ) ⑮その他 (書いてください: )

10) 「がん」のことを何で見たり知ったりしましたか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。

- ( ) ①テレビ ( ) ②雑誌 ( ) ③マンガ本  
 ( ) ④インターネット ( ) ⑤新聞 ( ) ⑥家族の話  
 ( ) ⑥学校での保健の学習 ( ) ⑦学校での保健以外の学習  
 ( ) ⑧病院のポスターやチラシ ( ) ⑨家族や親せきでがんにかかった人  
 ( ) ⑩家族や親せき以外の知り合いでがんにかかった人  
 ( ) ⑪その他 (書いてください: )

11) 次の「がん」について、1から3で当てはまるところを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

	1名前を聞いたことがない	2名前を聞いたことはあるが どんな「がん」なのかわからない	3名前を聞いたことがあり どんな「がん」なのか知っている
例 ○○がん	1	②	3
①肺がん	1	2	3
②食道がん	1	2	3
③胃がん	1	2	3
④肝臓がん	1	2	3
⑤膵臓がん	1	2	3
⑥大腸がん	1	2	3
⑦膀胱がん	1	2	3
⑧前立腺がん	1	2	3
⑨皮膚がん	1	2	3
⑩乳がん	1	2	3
⑪子宮がん	1	2	3
⑫精巣がん	1	2	3
⑬卵巣がん	1	2	3
⑭白血病	1	2	3
⑮脳腫瘍	1	2	3

最後まで書いてくれてありがとうございました。たたんで封筒に入れてください。

## がんについての調査（中学生）

- ・ みなさんにこたえてもらった結果は、日本でがんで亡くなる人をへらすための研究に使用します。
- ・ 終わった後は、一人一人が封筒ふうとうに入れてから集めます。あなたの名前や学校はわからないように研究室けんきゅうしつに送られます。
- ・ 学校の成績せいせきには関係かんけいありません。
- ・ 思ったことや知っていることを正直しょうじきに書いてください。
- ・ こたえたくない場合は、こたえなくてもいいです。

みなさん協力をよろしくお願いします。

「がん」についての調査 (中学2年生)

- 1) あなたは男ですか、女ですか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) 男 ( ) 女
- 2) あなたは、「がん」についてどのような印象を持っていますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①こわいと思わない  
( ) ②どちらかといえば、こわいと思わない  
( ) ③どちらかといえば、こわいと思う  
( ) ④こわいと思う  
( ) ⑤わからない
- 3) 「がん」は治療で治ると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①治ると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③治らないと思う  
( ) ④わからない
- 4) あなたは将来、自分が「がん」になると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③思わない  
( ) ④わからない
- 5) 「がん」は予防できると思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①予防できると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③予防できないと思う  
( ) ④わからない
- 6) 「がん」の検診を受けられる年齢になったら、あなたは検診を受けようと思いますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。※検診=病気にかかっているかどうかを調べる診察・検査など  
( ) ①受けようと思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③受けようと思わない
- 7) 「がん」の検診はどこで受けられると思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①病院や医院  
( ) ②職場 ※仕事をしているところ  
( ) ③地域の保健センターや保健所  
( ) ④その他 (書いてください: )
- 8) 「がん」の検診はどのような人が受けるものだと思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①健康な人  
( ) ②自覚症状のある人 ※自分で痛みなどを感じている人  
( ) ③医者から受けるようにすすめられた人  
( ) ④その他 (書いてください: )

- 9) 「がん」はどのような原因でなると思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。
- ( ) ①たばこ ( ) ②お酒・アルコール ( ) ③細菌・ウイルス  
 ( ) ④ストレス ( ) ⑤運動不足 ( ) ⑥太りすぎ  
 ( ) ⑦野菜を食べない ( ) ⑧脂肪(油)の取りすぎ ( ) ⑨食品添加物  
 ( ) ⑩魚や肉の焼けこげ ( ) ⑪塩分の取りすぎ  
 ( ) ⑫遺伝 ※親の性質が子へ伝わること  
 ( ) ⑬環境ホルモン ※動物のからだで成長などにかかわる働きをして体の働きを乱す化学物質  
 ( ) ⑭直射日光の当たりすぎ  
 ( ) ⑮その他(書いてください: )

- 10) 「がん」のことを何で見たり知ったりしましたか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。
- ( ) ①テレビ ( ) ②雑誌 ( ) ③マンガ本  
 ( ) ④インターネット ( ) ⑤新聞 ( ) ⑥家族の話  
 ( ) ⑥学校での保健の学習 ( ) ⑦学校での保健以外の学習  
 ( ) ⑧病院のポスターやチラシ ( ) ⑨家族や親せきでがんにかかった人  
 ( ) ⑩家族や親せき以外の知り合いでがんにかかった人  
 ( ) ⑪その他(書いてください: )

11) 次の「がん」について、1から3で当てはまる場所を1つだけ選んで数字に○をつけてください。

	1名前を 聞いたことがない	2名前を聞いたことはあるが どんな「がん」なのか知らない	3名前を聞いたことがあり どんな「がん」なのか知っている
例 ○○がん	1	②	3
①肺がん	1	2	3
②食道がん	1	2	3
③胃がん	1	2	3
④肝臓がん	1	2	3
⑤膵臓がん	1	2	3
⑥大腸がん	1	2	3
⑦膀胱がん	1	2	3
⑧前立腺がん	1	2	3
⑨皮膚がん	1	2	3
⑩乳がん	1	2	3
⑪子宮がん	1	2	3
⑫精巣がん	1	2	3
⑬卵巣がん	1	2	3
⑭白血病	1	2	3
⑮脳腫瘍	1	2	3

- 12) 「子宮頸がん」の予防のためのワクチン接種(予防注射)があることを知っていますか。  
 ( ) ①知っている ( ) ②知らない

- 13) 「がん」の治療方法で知っているものをいくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
 ( ) ①手術 ( ) ②抗がん剤 ( ) ③放射線治療

最後まで書いてくれてありがとうございます。たたくで封筒に入れてください。

## がんについての調査（高校生）

- ・みなさんにこたえてもらった結果は，日本でがんで亡くなる人をへらすための研究に使用します。
- ・終わった後は，一人一人が封筒ふうとうに入れてから集めます。あなたの名前や学校はわからないように研究室けんきゅうしつに送られます。
- ・学校の成績せいせきには関係かんけいありません。
- ・思ったことや知っていることを正直しょうじきに書いてください。
- ・こたえたくない場合は，こたえなくてもいいです。

みなさん協力をよろしくお願いします。

「がん」についての調査<sup>ちょうさ</sup> (高校2年生)

- 1) あなたは男ですか、女ですか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) 男 ( ) 女
- 2) あなたは、「がん」についてどのような印象<sup>いんしょう</sup>を持っていますか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①こわいと思わない  
( ) ②どちらかといえば、こわいと思わない  
( ) ③どちらかといえば、こわいと思う  
( ) ④こわいと思う  
( ) ⑤わからない
- 3) 「がん」は治療<sup>ちりょう</sup>で治ると思いませんか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①治ると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③治らないと思う  
( ) ④わからない
- 4) あなたは将来<sup>しょうらい</sup>、自分が「がん」になると思いませんか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③思わない  
( ) ④わからない
- 5) 「がん」は予防<sup>よぼう</sup>できると思いませんか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。  
( ) ①予防できると思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③予防できないと思う  
( ) ④わからない
- 6) 「がん」の検診<sup>けんしん</sup>を受けられる年齢<sup>ねんれい</sup>になったら、あなたは検診を受けようと思いませんか。1つだけ選んで ( ) に○をつけてください。※検診=病気にかかっているかどうかを調べる診察・検査など  
( ) ①受けようと思う  
( ) ②どちらとも言えない  
( ) ③受けようと思わない
- 7) 「がん」の検診<sup>けんしん</sup>はどこで受けられると思いませんか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①病院や医院  
( ) ②職場<sup>しょくば</sup> ※仕事をしているところ  
( ) ③地域の保健センターや保健所  
( ) ④その他 (書いてください: )
- 8) 「がん」の検診<sup>けんしん</sup>はどのような人が受けるものだと思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
( ) ①健康な人  
( ) ②自覚症状<sup>じかくしょうじょう</sup>のある人 ※自分で痛みなどを感じている人  
( ) ③医者から受けるようにすすめられた人  
( ) ④その他 (書いてください: )

- 9) 「がん」はどのような原因でなるとお思いますか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。
- ( ) ①たばこ ( ) ②お酒・アルコール ( ) ③細菌・ウイルス  
 ( ) ④ストレス ( ) ⑤運動不足 ( ) ⑥太りすぎ  
 ( ) ⑦野菜を食べない ( ) ⑧脂肪(油)の取りすぎ ( ) ⑨食品添加物  
 ( ) ⑩魚や肉の焼けこげ ( ) ⑪塩分の取りすぎ  
 ( ) ⑫遺伝 ※親の性質が子へ伝わること  
 ( ) ⑬環境ホルモン ※動物のからだで成長などにかかわる働きをして体の働きを乱す化学物質  
 ( ) ⑭直射日光の当たりすぎ  
 ( ) ⑮その他 (書いてください: )

- 10) 「がん」のことを何で見たり知ったりしましたか。いくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。
- ( ) ①テレビ ( ) ②雑誌 ( ) ③マンガ本  
 ( ) ④インターネット ( ) ⑤新聞 ( ) ⑥家族の話  
 ( ) ⑥学校での保健の学習 ( ) ⑦学校での保健以外の学習  
 ( ) ⑧病院のポスターやチラシ ( ) ⑨家族や親せきでがんにかかった人  
 ( ) ⑩家族や親せき以外の知り合いでがんにかかった人  
 ( ) ⑪その他 (書いてください: )

11) 次の「がん」について、1から3で当てはまる場所を1つだけ選んで数字に○をつけてください。

	1名前を聞いたことがない	2名前を聞いたことはあるが どんな「がん」なのか知らない	3名前を聞いたことがあり どんな「がん」なのか知っている
例 ○○がん	1	②	3
①肺がん	1	2	3
②食道がん	1	2	3
③胃がん	1	2	3
④肝臓がん	1	2	3
⑤膵臓がん	1	2	3
⑥大腸がん	1	2	3
⑦膀胱がん	1	2	3
⑧前立腺がん	1	2	3
⑨皮膚がん	1	2	3
⑩乳がん	1	2	3
⑪子宮がん	1	2	3
⑫精巣がん	1	2	3
⑬卵巣がん	1	2	3
⑭白血病	1	2	3
⑮脳腫瘍	1	2	3

- 12) 「子宮頸がん」の予防のためのワクチン接種(予防注射)があることを知っていますか。  
 ( ) ①知っている ( ) ②知らない

- 13) 「がん」の治療方法で知っているものをいくつ選んでもいいので ( ) に○をつけてください。  
 ( ) ①手術 ( ) ②抗がん剤 ( ) ③放射線治療

最後まで書いてくれてありがとうございました。たたんで封筒に入れてください。



学校長殿

## 調査へのご協力をお願い

研究代表者

聖心女子大学教授 植田 誠治

私どもの研究班は、現在、厚生労働省より補助金を受けて「学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発に関する研究」を進めております。がんは、1981年より日本人の死因の第1位であり、成人の約30%ががんで死亡しています。しかしながら、これまで学校教育の中でがんについて教えられる機会は限られてきました。また、がんに対する関心の低さ、誤った認識によるがん患者やその家族への差別や偏見の問題も指摘されています。このような状況を鑑み、本研究では、学校健康教育におけるがんについての教育のあり方について総合的に検討するとともに、教師向け指導書と児童生徒用教材についての教育プログラムを開発することを目的としています。

そして、今回教育プログラム開発の基礎的研究として、全国の小・中・高校の児童生徒の皆さんを対象に、**がんについての意識・知識調査**（アンケート調査）を計画いたしました。研究の趣旨、目的をご理解いただき何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 本研究の概要

研究費の種類	厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
実施年度	平成24・25年度
研究課題名	「学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発研究」
研究代表者	植田誠治（聖心女子大学教授）
研究分担者	衛藤 隆（日本子ども家庭総合研究所所長・東京大学名誉教授）、 渡邊正樹（東京学芸大学教授）、物部博文（横浜国立大学准教授）、 助友裕子（国立がん研究センター研究員）、杉崎弘周（新潟医療福祉大学講師）
研究協力者	森 良一（国立教育政策研究所教育課程研究センター調査官）

#### 2. 今回の調査について

調査内容	がんに関する意識と知識について10項目と性別 <u>（完全無記名）</u>
調査対象	全国の小・中・高等学校からの無作為抽出 <u>貴校からは5年生の1つの学級での調査のご協力をお願いします。</u>
回答期限	<u>平成25年2月15日（金）</u> までに実施いただき、返送をお願いします。返信用封筒をそのままご投函ください（送料は後納にて当方で負担）。
調査データ	調査用紙は無記名であり、回答者自身が封筒に入れたものを一括して返送していただきます。その後、質問の回答部分をコンピュータに入力し、統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方の個人的な情報が外部に漏れたり、ご回答者にご迷惑をおかけしたりするようなことは決してありません。

お問い合わせ先：

東京都渋谷区広尾4-3-1 聖心女子大学教育学研究室 植田 誠治  
03-3407-5328（研究室直通）  
sueda@u-sacred-heart.ac.jp

問い合わせは、できるだけE-mailでお願いいたします。

調査ご担当の先生

## がんについての意識・知識調査の手引き

研究代表者

聖心女子大学教授 植田 誠治

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。調査実施に際しまして、ごく身近な家族をがんで亡くしている児童生徒さんには個別の配慮をお願いします。

それでは以下の手順で実施をお願いします。

①調査用紙 (A3 用紙 2 つ折り 1 枚) と封筒を配付してください。

②となりの人の回答がみえないように配慮をお願いします。また、先生が机間を回ることもされないようにお願いします。

③次のことを伝えてください。

「皆さんが答えた結果は、日本でがんで亡くなる人を減らすための研究に使用されます。」

「皆さんの名前や学校はわからないように研究室に送られます。」

「学校の成績には関係ありません。」

「思ったことや知っていることを正直に書いてください。」

「答えたくない人は答えなくても結構です。」

「では、始めてください」

(回答時間は 15 分間をお願いします)

「用紙をたたんで、封筒に入れて、封筒の口を折ってください。これで終わりです。」

④個々の封筒を、宛名が印字された返信用封筒に入れてください。

⑤以下に都道府県名と在籍者数をご記入の上、この用紙も同封をお願いします。

(回答地域、推定対象者数の算出に使用しますが、学校名の特定などは一切行いません)

都道府県名：( )

クラス在籍者数：男子 ( ) 名、女子 ( ) 名

・お手数ですが、返信用封筒に封をしてポストへそのまま投函くださるようお願いいたします。

ご協力、誠にありがとうございました。

# (資料) がんに関する指導の手引き目次案

厚生労働省科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)

「学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発研究」

## 目次

### はじめに

#### 第1章 がんに関する指導の意義と重要性

#### 第2章 がんに関する指導の目標と内容

1. がんに関する指導の目標
2. がんに関する指導の内容
3. 発達段階に応じたがんに関する指導の内容

#### 第3章 がんに関する指導の機会と進め方

1. がんに関する指導の機会
  - 1) 教育課程における指導の機会
  - 2) 指導の機会
2. がんに関する指導の進め方
  - 1) 指導計画の作成
  - 2) 年間指導計画の作成
  - 3) 指導体制の確立

#### 第4章 がんに関する指導計画例

1. 小学校の指導計画例
2. 中学校の指導計画例
3. 高等学校の指導計画例

#### 第5章 がんに関する指導の展開例

1. 小学校
  - 1) 小学校体育科「保健」における指導
  - 2) 小学校「学級活動」における指導
  - 3) 小学校「道徳」における指導
  - 4) 小学校「総合的な学習」における指導
2. 中学校
  - 1) 中学校保健体育科「保健分野」における指導
  - 2) 中学校「学級活動」における指導
  - 3) 中学校「道徳」における指導
  - 4) 中学校「総合的な学習」における指導
3. 高等学校
  - 1) 高等学校保健体育科「科目保健」における指導
  - 2) 高等学校「学級活動」における指導

- 3) 高等学校「道徳」における指導
  - 4) 高等学校「総合的な学習」における指導
  - 5) 高等学校「生物」における指導
  - 6) 高等学校「家庭一般」における指導
  - 7) 高等学校「ホームルーム」における指導
4. がんに関する知識
- 1) がんの現状
  - 2) がんとは何か
  - 3) がんの病理
  - 4) がんの予防方法
  - 5) がんの検診
5. がんに関する Q&A

## II. 分担研究年度終了報告

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）  
学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発研究

### 分担研究年度終了報告

カナダのブリティッシュコロンビア州におけるがん教育支援プログラム  
—BC Cancer Agency におけるがん予防プログラム—

研究分担者 助友 裕子 国立がん研究センターがん対策情報センター 研究員

研究要旨：部位別にみたがん統計の分布が我が国と異なる諸外国のがん予防については、皮膚がんや日焼けの因果関係に関するエビデンスが蓄積されていることが大きな特徴であり、そのための予防教育が学校教育の中で行われてきた。本研究では、一部のがんに関する予防教育を入口として、学校教育の中でどのようにがん予防あるいは包括的ながんに関する教育プログラムが提供されているのかを明らかにすることを目的として、カナダのブリティッシュコロンビア州でがん対策に取り組んでいるBC Cancer Agencyの取り組みについて、関係者への聞き取り調査および関連ホームページや収集資料の分析を行った。インタビュー調査では、組織概要、健康教育の内容、教育の対象、方法、実施主体、教材、評価方法について、半構造化インタビューを実施した。その結果、Prevention Educational Leader (PEL) による学校への支援体制や、科学的根拠に基づいた5分野（たばこ、肥満、運動不足、偏った食生活、日焼け）を主軸としたプログラムが開発されていることが明らかになるとともに、我が国への適用可能性についての課題が明らかとなった。今後は、我が国のがんの現状をふまえた健康教育プログラムのあり方について検討する必要性が示唆された。

### 研究協力者

植田誠治（聖心女子大学 教授）  
渡邊正樹（東京学芸大学 教授）  
杉崎弘周（新潟医療福祉大学 講師）  
森 良一（国立教育政策研究所 研究員）

### A. 調査目的

我が国では予防可能ながんのリスクファクターの多くに、喫煙、偏った食生活、運動不足等の生活習慣が指摘されるようになってから久しく、多くのエビデンスが蓄積されつつある[1]。これらの生活習慣はがんに限らずあらゆる慢性疾患を予防するために共通したものである。そのため、現行の学校健康教育プログラ

ムにおいても生活習慣に起因する病気の予防が学習内容として含まれており、一部のがん（肺がん等）についてはその一例として触れることとされている[2]。一方、部位別にみたがん統計の分布が我が国と異なる諸外国のがん予防については、皮膚がんや日焼けの因果関係に関するエビデンスが蓄積されていることが大きな特徴であり、そのための予防教育が学校教育の中で行われてきた。オーストラリア（特にクイーンズランド州）における日焼け防止プログラムをはじめ[3]、北米を中心とした欧米諸国に児童生徒を対象とした皮膚がん予防のための日よけ対策プログラムの実践事例が報告されている[4-5]。これらの報告の重要性は、

18歳以下の子どものライフスタイルをレビューしたOliveria SA et al.の指摘からも明らかである[6]。

そこで本研究では、一部のがんに関する予防教育を入口として、学校教育の中にどのようにがん予防あるいは包括的ながんに関する教育プログラムが提供されているのかを明らかにすることを目的として、北米・カナダのブリティッシュコロンビア州におけるがん教育実施団体を訪問し、学校健康教育の支援状況を調査した。

## B. 調査方法

2013年3月1日、カナダのブリティッシュコロンビア州でがん対策に取り組んでいるBC Cancer Agencyを訪問し、関係者に対し聞き取り調査を実施した。調査は組織概要、健康教育の内容、教育の対象、方法、実施主体、教材、評価方法について、半構造化インタビューを実施した。インタビューは1時間程度実施され、1名のコーディネートのもと3名のインタビュアが質問をし、1名は記録係として同席した。インタビューのやりとりは対象者の許可を得たうえでICレコーダーに記録した。またその基礎データとして、同団体が提供しているWebサイトならびにリーフレット教材についても分析を行った。

## C. 調査結果

### (1) 対象者の属性および特性

表1にインタビュー対象者となった3名の属性を示す。3名共に女性で修士の学位(MBA、MA)を保持していた。1名はBC Cancer Agencyのがん予防教育プログラムを統括するProvincial Managerであり、もう2名は各地区を担当するPrevention Educational Leader (PEL)であった。

### (2) BC Cancer Agencyの組織概要

#### A. 使命

BC Cancer Agencyは、がん罹患を減らすこと、がん死亡率を減らすこと、がん患者のQOLを向上させることを組織の使命として設立されている。

#### I. 活動内容

BC Cancer Agencyでは、がん登録や成果のモニタリングをはじめ、子宮頸部・大腸・乳房(マンモグラフィ)がん検診、遺伝性がんとその家族への遺伝カウンセリング、画像診断サービス、手術療法の標準化ガイドラインの開発および放射線療法を主たるプログラムとして実施していた。

### (3) PELによるがん予防教育プログラム

1998年に、Prevention Educational Leader (PEL) が学校に出向いて出前授業をしがんを予防するための健康的な生活習慣の重要性を伝えるプログラムが開始され、現在では小学校から高等学校までの児童生徒やその教員を対象とした教育プログラムが開発されている。その多くは、地域担当制PELによる各学校への支援が中心である。まず、主に教育委員会等の影響力を持った組織(influencer)に働きかけ、そこから各学校へ周知してもらい、興味を持った学校からPELに連絡が入っている。その後、PELが学校を訪問し、がん予防教育プログラムの支援が開始される、という流れになっている。2013年3月現在までに、州内800校程度の支援実績が報告されている。

表2にBC Cancer Agencyが提供するがん教育プログラムの概要を示す。プログラムは、科学的根拠に基づいた5分野(たばこ、肥満、運動不足、偏った食生活、日焼け)を主軸として構成されていた。これに加えて高校生女子のみ子宮頸がん検診(PAPテスト)とHPVワクチンの接

種に関する情報提供がなされていた。5分野にわたるがん予防教育プログラムは、「50%以上のがんは予防可能」というキーメッセージを核とし、2種類のwebサイトが展開されている（図1、図2）。

#### （4）予防可能ながんを予防するための5分野

表3にBC Cancer Agencyが提示している予防可能ながんのリスクを半減させるための方法を示す。これらは、科学的根拠に基づいた5分野（たばこ、肥満、運動不足、偏った食生活、日焼け）について分かりやすく解説した図3のリーフレットによるものであり、webサイト上からもダウンロードが可能である。

#### （5）プログラムの評価

BC Cancer Agencyでは、前述のような予防法をセルフチェックできるようにするために図4のようなクイズ形式のガイダンスを提供している。個人がこれらを総合的に実践できるように目標値の条件として知られるSMART（スマート）についても紹介している。すなわち、目標設定は、specific（具体的）、measurable（測定可能）、attainable（現実的に達成可能）、realistic（結果重視）、time frame（期限付き）なものを想定するよう、その考え方が示されたものである。

また、プログラムの評価としては、daycare providerに対し事前事後調査をしたことがあるが、児童生徒の行動変容というよりもむしろプログラム自体を評価することが主流である。そのため、定量的評価と定性的評価の両方の手法による評価を心がけているものの、どちらかというとも後者による評価手法をとることが多くならざるを得ないのが課題とされていた。

### D. 考察

#### （1）がん予防教育の実施主体

本研究対象となったBC Cancer Agencyは、ブリティッシュコロンビア州におけるがん対策推進の主要な主体であり、科学的根拠に基づいた知見を活かしたがん予防教育のノウハウが蓄積されていた。同時に、学校教育にがんをテーマとした教育プログラムを提供するために、がん予防を入口として健康的な生活習慣に特化したメッセージを伝え続けることを基本原則としていた。プログラムが開始された当初はPELによる出前授業を基本としていたが、彼(女)らの経験から、直接的に児童生徒に働きかけるよりも教員への支援を通じてプログラムを機能させた方が、より質の高い教育効果が得られるとの結論に至ったことが想起される。

同時に、ブリティッシュコロンビア州では、2010年にHealthy Families BC[7]という州政府の公衆衛生施策が立案されたことを契機に、成人の疾病予防に対する教育プログラムの重要性が再認識されるようになったことも大きな転機であったことが、インタビュー調査から明らかとなった。我が国においても、2012年に改定されたがん対策推進基本計画に基づき、各都道府県が策定されており、これまでに公表されているほとんどの都道府県で児童生徒を対象としたがんの教育を実施することが明記されている[8]。これらの施策が、いかに学校現場の健康教育と連動させることができるかが課題であるが、現時点ではBC Cancer Agencyのように民間機関でこのような機能を果たせる主体がないことが限界としてあげられるだろう。

#### （2）がん予防法の5分野の特異性

BC Cancer Agencyが提供している教育プログラムは、科学的根拠に基づいたがん情報という見地から、たばこ、肥満、運動不足、偏った

食生活、日焼けの5分野を主たる柱としていた。このうち、日焼けを除く4分野は我が国においても日本人を対象とした科学的根拠に基づくがん予防法として報告されている[1]。しかし、我が国の場合、白人に多く報告されている日焼けとがん（皮膚がん）の因果関係を検討するにはデータが不十分であり、十分なエビデンスがないのが現状である。

このような現状を鑑みると、欧米において日焼け予防を含めたがん予防の話題を健康教育に導入することは、学校教育現場のニーズもあることが想起され、我が国の背景に即さない側面もあろう。一方で、たばこ、肥満、運動不足、偏った食生活の4分野に関する健康教育は、すでに我が国の学校健康教育でも実施されているものである。これらのテーマががん予防と直結して考えられる機会を提供することの是非が今後検討されるべきであろう。

#### E. 結論

本研究では、北米・カナダのブリティッシュコロンビア州におけるがん教育実施団体であるBC Cancer Agencyを訪問し、学校健康教育の支援状況を調査した。その結果、提供プログラムの概要とともに、我が国への適用可能性についての課題が明らかとなった。今後は、我が国のがんの現状をふまえた健康教育プログラムのあり方について検討する必要性が示唆された。

#### 文献

- [1] 厚生労働科学研究費補助金 第三次対がん総合戦略研究事業 生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究班（主任研究者津金昌一郎）。研究の成果。2009.
- [2] 文部科学省。高等学校学習指導要領解説 保健体育編。2009.
- [3] Girgis A, Sanson-Fisher RW, Tripodi DA, Golding T. Evaluation of interventions to

improve solar protection in primary schools. Health Educ Q 1993; 20(2): 275-87.

[4] Loescher LJ, Buller MK, Buller DB, Emerson J, Taylor AM. Public education projects in skin cancer. The evolution of skin cancer prevention education for children at a comprehensive cancer center. Cancer 1995 75(2 Suppl): 651-6.

[5] Hughes AS. Sun protection and younger children: lessons from the Living with Sunshine program. J Sch Health 1994; 64(5): 201-4.

[6] Oliveria SA, Saraiya M, Geller AC, Heneghan MK, Jorgensen C. Sun exposure and risk of melanoma. Arch Dis Child 2006; 91(2): 131-8.

[7] Healthy Families BC. Available at: <http://www.healthyfamiliesbc.ca/>. Accessed March 10, 2013

[8] 国立がん研究センターがん対策情報センター。がん情報サービス 地域のがん情報。 Available at: [http://ganjoho.jp/professional/cancer\\_control/prefectures.html](http://ganjoho.jp/professional/cancer_control/prefectures.html). Accessed March 10, 2013

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

助友裕子, 片野田耕太. 都道府県のがんの教育・普及啓発の取り組みと第2期への期待. 保健医療科学 2012 ; 61(6) : 598-606.

##### 2. 学会発表

なし

#### G. 知的財産の出願・登録状況

なし



表1 インタビュー対象者

Sonia Lomont, BA (Hons), MBA	Provincial Manager Prevention Programs
Halla Elmobayad, MA	Prevention Educational Leader: Burnaby, Coquitlam, Maple Ridge, Pitt Meadows
Wajeeha Raouf, MBA	Prevention Educational Leader: Delta, Surrey

表2 BC Cancer Agency が提供するがん教育プログラム

健康教育に関わる内容	対象			教材		方法	実施主体	評価方法
	小学校	中学校	高等学校	Webサイト	紙媒体			
・たばこ	○	○	○	○	○	・開設当初(1998年)はPrevention Educational Leaders(PEL)による出前授業 ・現在は、地域担当制PELによるマネジメント支援が中心: 主要団体(主に教育委員会)へ連絡→各学校への周知→興味を持った学校からの連絡→PELが学校訪問の流れで支援プログラムが始まる。(800校程度実施)	・支援=PEL ・授業=教員 ・教員の中でも science teacherが協力的	・daycare provider! に対し事前事後調査をしたことがある ・児童生徒の行動変容ではなく、プログラム自体を評価する ・定量・定性(どちらかというと後者が多い)両方の手法による評価を心がけている ・SMARTによる自己評価の推奨
・肥満	○	○	○	○	○			
・運動不足	○	○	○	○	○			
・偏った食生活	○	○	○	○	○			
・日焼け	○	○	○	○	○			
・子宮頸がん検診*	—	—	女子のみ	—	○			
・HPVワクチン	—	—	女子のみ	—	○			

\* PAPテスト

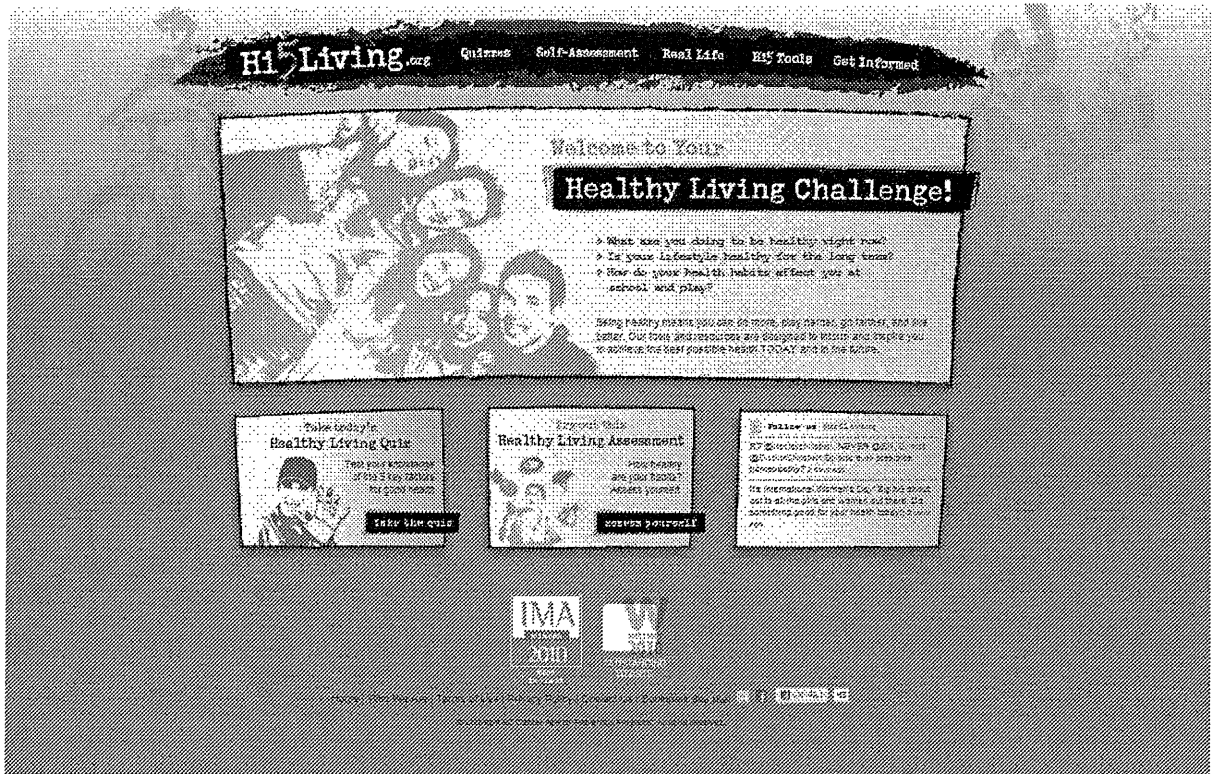


図1 5分野からなるがん予防教育サイト (<http://hi5living.org/>)

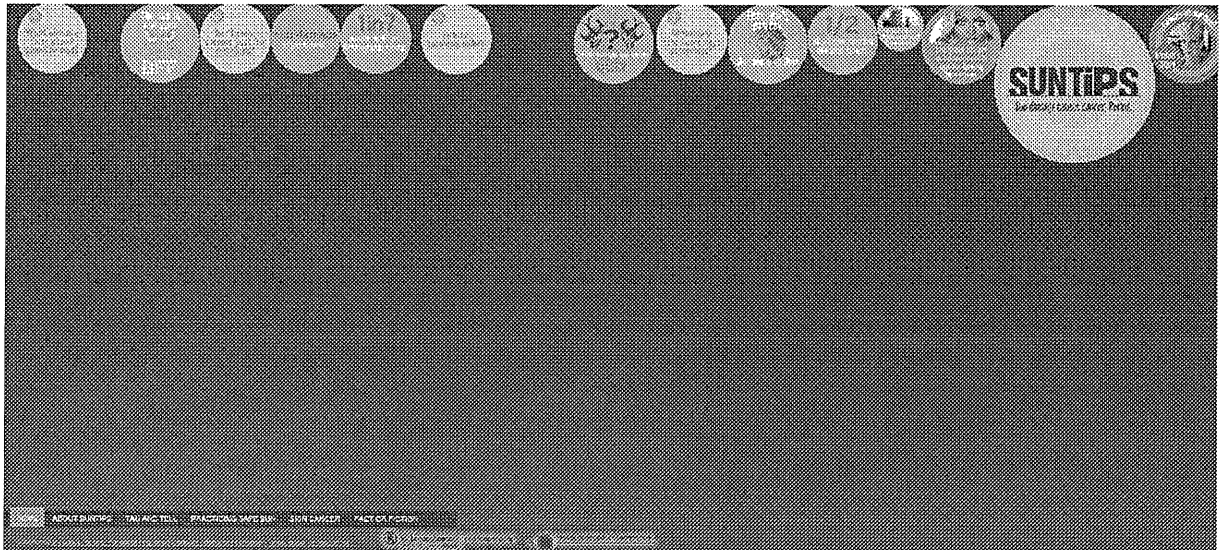


図2 日焼け予防に関するがん予防教育サイト (<http://suntips.ca/>)

表3 予防可能ながんのリスクを半減させるための方法

分野	予防法	
たばこを吸わない	確実な禁煙のための3か条	1.医師やカウンセラー等の専門家に相談する 2.禁煙するためのホームページ <a href="http://www.quitnow.ca">http://www.quitnow.ca</a> にアクセスする 3.ニコチン代替療法や禁煙治療薬を利用する
適切な体重を維持する	—	活動的に過ごしながらバランスのとれた食事をとる 砂糖の入った食べ物や飲み物を避ける
栄養価の高い食事	買い物かごをチェックする  時々選ぶもの	野菜や果物 豆製品 魚、鶏肉、豆腐、豆製品等のたんぱく質 赤身肉、加工肉、くん製肉 甘いものまたは塩辛いもの 加工食品
毎日活動的に過ごす	健康的な身体を手に入れる	様々なエクササイズを実践する 日常で楽しめる活動を見つける
日よけを実践する	太陽にかしこくなる	午前11時から午後3時は日に当たらないようにする 日影をさがす つばの大きな帽子をかぶるかサングラスをかける 衣類で保護する SPF30以上の日焼け止めを使用する

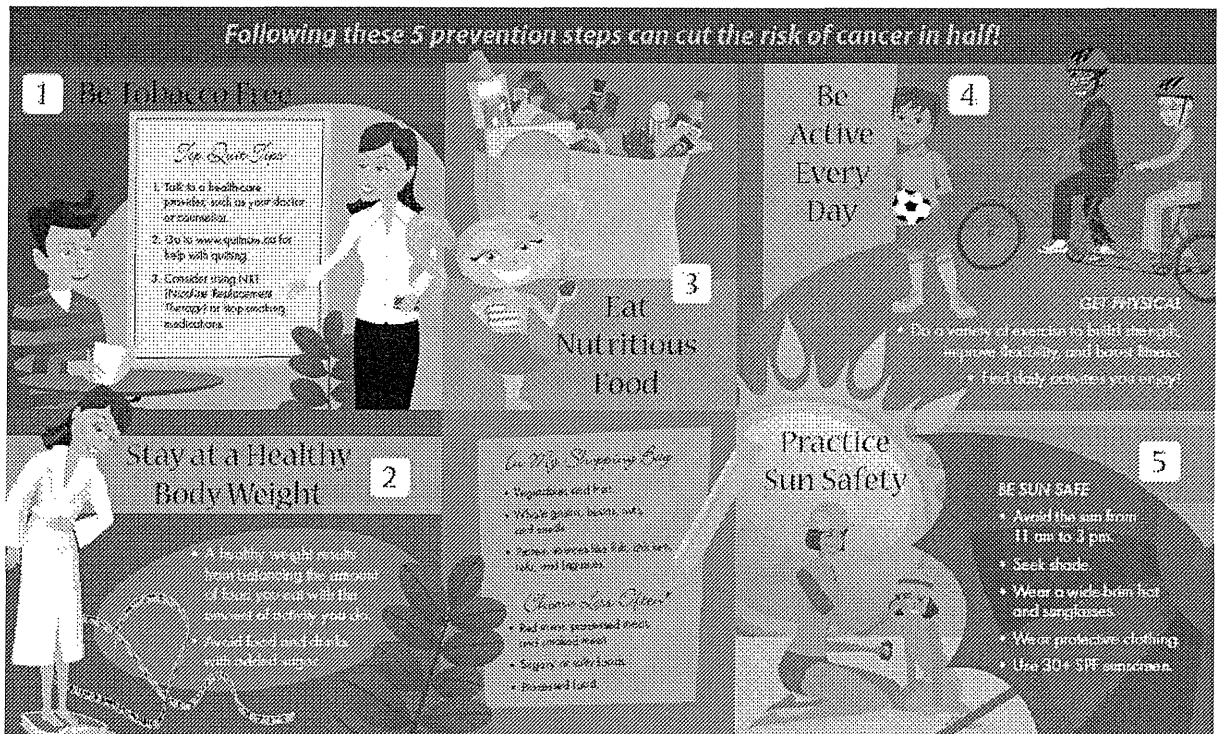


図3 がん予防法リーフレット（上段：表、下段：裏）